

視聴覚教育

NO. 408

発行日

26.12.22

発行

岡崎市 A V L

編集

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

『既読スルー』

LINE で「メッセージは読まれているのに返信がない」状態を指す。LINE では相手がメッセージを開くと「既読」と通知される。「既読」通知が出ても返信がないことが「無視された」と取られ、人間関係を悪くする原因になっている。

視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部研修部会

研修部会では、今年度も各校の視聴覚機器保有状況について調査した。調査項目は「機器の保有状況」、「購入を希望している機器」、「使用して便利だと感じた機器・ソフト」の三つである。詳細は三月に刊行される『岡崎の視聴覚教育 第四十六号』に掲載される予定であるが、ここではその概要について述べたい。

主な視聴覚機器の1校あたりの平均保有数は【表1】に示すようになった。昨年度最も購入希望が多かった教材提示装置は、市内全体で42台増加している。「手早く」「簡単に」教材の提示ができるなど、授業における高い利便性が広く認知されていると言える。

また、今年度は全中学校にタブレットPCが導入された。研修会が行われたり、モデル授業案が示されたりするなど、活用の機運が高まってきている。今後も各学校において、数・理・英の三教科を

機器名	小学校	中学校	小中全体
教材提示装置(書画カメラ)	15.2(14.9)	11.7(10.3)	14.1(13.5)
HDD デジタルビデオカメラ	1.8(1.6)	2.5(2.1)	2.0(1.8)
タブレットPC	0.3(0.04)	40.7(5.4)	12.4(1.6)
学校購入パソコン	1.9(2.3)	3.0(4.0)	2.2(2.8)

主な視聴覚機器の1校あたり平均保有数【表1】 単位:台 ():昨年度平均保有数

中心に様々な授業形態での実践が期待される。その一方で、学校で購入したパソコン38台、スキャナ49台、プリンタ62台が減少している。ウインドウズXPパソコンと周辺機器の廃棄が原因と考えられる。ウインドウズXPの使用を継続することに伴う危険性が、多くの学校において認知されていることを裏付けるものである。「購入を希望している機器」【表2】では、HDD デジタルビデオカメラやデュプリケーター、タブレットPCなどが多く挙げられた。HDD デジタルビデオカメラの購入希望が多いのは、旧式のDVカメラが購入から年数が経ち、故障が増えていることが背景にある。デュプリケーターに関しては、拠点となる学校に配置されているが、購入を希望する学校が増えており、需要の高さがうかがえる。小学校でのタブレットPC購入希望では、特別支援学級での個別指導に役立てたいというものが多い。これらの調査結果を参考にし、各校において計画的に機器の整備を進めていただきたい。

機器名	校数
HDD デジタルビデオカメラ	19校
タブレットPC	10校
デュプリケーター	10校
HDD・DVD レコーダー	10校
鋼材提示装置(書画カメラ)	9校

購入を希望している機器【表2】

II 視聴覚教育あれこれ II

● ICT 支援員「ISA-OK」の積極的な活用を

二期より ICT 支援員「ISA-OK」の活用ができるようになりました。依頼をすれば学校に来て様々な支援を行ってくれます。

ISA-OK の大きな特徴として、ICT の関係で困ったことがあれば、誰でも電話で問い合わせができることが挙げられます。「分からない!」「どうしたらいいの?」にもすぐに答えてくれる、そんな ISA-OK は、先生方の強い味方です。

また、トラブルへの対処だけでなく、ICT に関する「こんなことができたらいいな」「こんなことを学びたい」の実現にも、ISA-OK は力を貸してくれます。ぜひ積極的に御活用ください。

● 自作視聴覚教材の活用を

自主サークル「おかざき映像教材研究会」制作の教材がもうすぐ完成します。いずれも子供の学びを深めるのに役立つ教材ばかりです。作品は第三回学習情報主任会で配付される予定です。これまでの教材も含め、授業などで御活用ください。

A 班 『おかざきの狛犬作り』

〜手彫りにこめた思い〜
対象 小学四年 社会

B 班 『伝統をうけつぐ』

〜味岡人形のねりがしら〜
対象 小学四年 社会

C 班 『岡崎おもちゃ病院』

(ビデオ教材) 対象 社会教育

D 班 『岡崎の花こう岩と地質』

〜その特徴にせまる〜
(マルチ教材) 対象 中学一年 理科

E 班 『郷土に残る古墳』

〜岡崎市の古墳〜
(ビデオ教材) 対象 小学六年 社会

F 班 『おかざきの音事典』

(マルチ教材) 対象 中学校 理科

※各班の教材のタイトルは仮題です。

実践報告Ⅱ 年間を通じた文字入力力の指導

形埜小学校 浜本 安彦

今年度担任をしている三年生の子供に、文字入力力のスキルを身につけさせることを目指し、様々なソフトウェアを利用した継続的な指導を行った。一学期は「ポケモンPCチャレンジ」を利用し、マウス操作やタイピングの練習を中心に組み組ませた。このソフトは、各学校に無償で配付されており、子供たちに人気がある「ポケモン」がメインキャラクターとなっている。子供たちは「次はどんなステージかな」「速く打てるようになりたい」など、楽しみながら学習に取り組んだ。このソフトウェアを活用することで、子供たちはマウスやキーボードの基本的な操作を身に付けることができた。

二学期の国語科の授業では、子供たちはローマ字を学ぶ。そこで、パソコンを使ってローマ字入力をする機会を設け、ローマ字での文字入力を練習させた。利用したのは「キューブキッズ3」である。名刺作りやカード作りを通して、子供たちはローマ字入力に少しずつ親しんでいった。「もうだいぶローマ字で打てるよ」などと、ローマ字入力に自信をもつ子供の姿が見られるようになった。



秋からは新聞作りの作業に取り組みました。キーボード入力に加え、デジタルカメラで撮影した写真を文章に貼り付けるなど、新たな操作も取り入れ、子供のスキルの幅を広げるように工夫した。初めの頃はたどたどしい指使いをしていた子供たちも、今ではスムーズなキーボード入力ができるようになってきている。やはり、何事も「継続は力なり」。今後も指導を継続して行い、子供たちのスキルをさらに向上させていきたいと考えている。

レッツ・トライⅡ

「デジタルコンテンツ」の活用を

授業の構想を練っている時に「こんな資料を子供たちに見せたら一層理解が進むの」と思うことはないだろうか。OKリンクにある「教育用デジタルコンテンツ」は、そんな時に活用できる。これは、様々な教科の授業で使える静止画・動画コンテンツが集積されているものであり、各学校や教室などから自由に利用できる。私はこれを、小学校三年生社会科の「岡崎市内のようなす」の学習で利用した。子供たちにとって、「普段行けない場所」や「行ったこととはあるけれど、はっきりとは覚えていない」場所の画像を検索して、大型ディスプレイで提示した。子供たちは次々に「ぼく、あの公園に行ったことがあるよ!」「そういえば大きな道路があったよね」と発言した。それを受けて「どうしてここは道路が広いんだろう」と発問し、その後の追究へとつなげることができた。デジタルコンテンツを利用することで、問題解決的な学習を展開できた。

「教育用デジタルコンテンツ」はOKネットのトップページからリンクが張られている。検索も容易で、「新着」「学年・教科」「カテゴリ」「キーワード」の四種類の方法から調べられる。特に社会、理科、生活、総合的な学習に関するコンテンツが豊富だが、国語、算数、図工、家庭科、体育などの教科でも、授業に使えるコンテンツが集められている。ぜひ一度閲覧し、授業に使えるコンテンツを探してみたいかと思う。



(恵田小学校 学習情報主任 藤田 宏)

ライブライブラリーだよ!

●教材・機材の貸出し

視聴覚ライブラリー保有の教材・機材の検索や予約は、視聴覚ライブラリーのホームページからできます。ただし、予約には、登録団体ごとのIDとパスワードが必要で、教材・機材の予約は三ヶ月前からでき、最長で一週間の貸出が可能です。

なお、市内公立小中学校からの利用については、教材に限って巡回郵便を利用して受取ったり、返却したりすることが可能です。その場合には、「利用目的」の欄に、利用目的と合わせて「巡回郵便利用希望」と記入して下さい。たくさんの方の積極的な御利用をお待ちしております。

●情報モラル出前講座のご案内

情報モラル教育の重要性が増しています。各学校では児童・生徒に向けた情報モラル教育が進められていますが、保護者に対しても、情報モラル教育に対する意識を高めていただくよう、積極的な働きかけを行っています。視聴覚ライブラリーでは、情報モラルに関する出前講座を実施しています。保護者や地域の方々を対象に、ネット社会の危険な現状や、子供をインターネットの闇から守るための具体的な手だて、メディアと健康などについて、学校の要望に合わせ講師を派遣しています。ぜひ御活用ください。

問合せ先 視聴覚ライブラリー

☎ 23-6789

